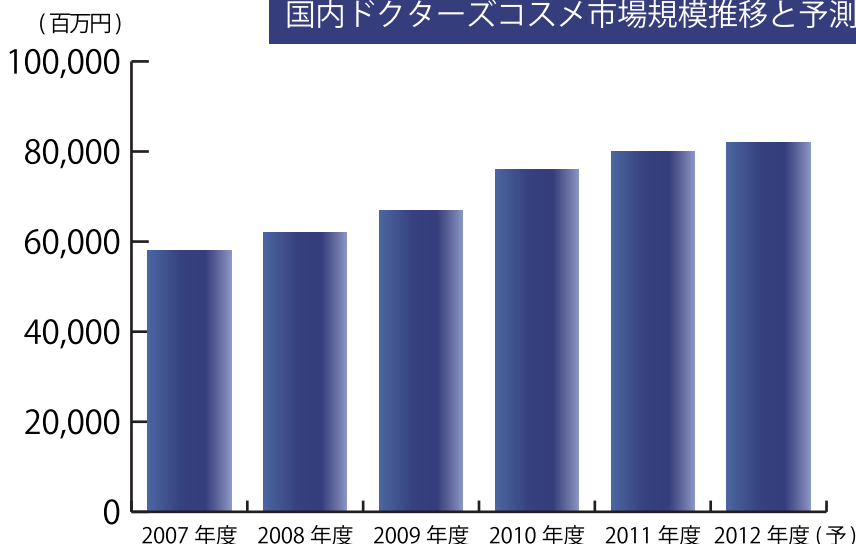


## 自由診療パワーアップの鍵

# ドクターズコスメが いま熱い!



国内ドクターズコスメ市場規模推移と予測



注1：ブランドメーカー出荷金額ベース  
注2：(予)は予測

(矢野経済研究所推計)

患者様の治療の効果を上げるだけでなく、自由診療を強化する武器にもなり得るドクターズコスメ。売り上げをアップするのはもちろん、美容医療機器による治療メニューと組み合わせれば、集患にも効果大と言われる。そんなドクターズコスメの現状を、ニーズが高まり続けるいまだからこそ、取材を慣行してみた。

**人気集中  
ドクターズコスメの  
増加を続ける  
市場動向とは…**

ドクターズコスメとは、医師が開発・研究に参加している化粧品、または、皮膚科・整形外科・美容外科などの専門医療施設でのみ販売や紹介を行っている化粧品のことを総称したものである。それぞれの

医師の、ニキビ・

シミ・しわ・アトピー性皮膚炎等の治療経験から研究・開発されたスキンケアを、商品化したものと考えられ、最新の皮膚医学を用いて、肌成分、配合割合などにこだわりを持ってつくられている。

ここ近年、このドクターズコスメは、各女性誌で取り上げられ、特集を組まれることが非常に多くなっている。そのため、ユーザーの一部であるいわゆる「コスメおたく」だけでなく、広く女性たちに認知され、ますます人気が高

まっている。ドクターズコスメという大きな分野として勢力を伸ばし、一般化粧品の売り上げを脅かすほどだといえる。ある調査結果によると、2011年度の国内ドクターズコスメ市場規模は前年度比5・3%増の795億円と好調に推移しているという。わが国の一般化粧品市場が成熟する一方、ドクターズコスメ市場は4年前と比較して38・5%（2007年度比）の伸長率を示している。

また、従来のドクターズコスメは、皮膚疾患やトラブルを起こしやすいため敏感肌対応の低刺激化粧品が中心であったが、近年ではエイジングケアや美白など、さらにステップアップし効果を追求した商品が増加。それに伴い、流通ルートや製品カテゴリーも多様化している。

医師が開発・製造に携わっているというだけで、ユーザーの安心感に繋がりが、そこから売り上げの増加が見られていたのは、すでに過去の話。これからは、デリケートで敏感な肌にやさしいだけでなく、対応できる肌トラブルの細分化、素早い効果感、高いエイジングケア機能、治療との連動等、さらにプラスされた高い効果が期待されているのが現実だ。

新しく、クリニック独自のドクターズコスメを製造したい、人気のラインを導入したいと言われる医師も多い。そこで大切なことは、どんな効果や成分を持つものが欲しいか、患者様へどんな目的ですすみたいか、そして、配合する成分や機能に医師自身がどこにどれだけこだわっている治療に併せたオリジナリティーにあふれるコスメの開発が望まれるのではないだろうか。

※ 出典：矢野経済研究所調べ